



#1 Coating Technology in The World
Molecule Gradient Layer (MGL)TM Technology

抜群の強粘着両面テープ

不織布基材両面テープ

201M

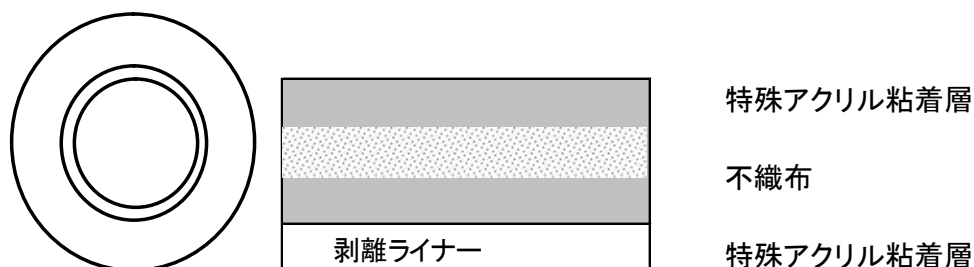
特徴

- ①初期タックが大変優れた強粘着タイプの両面テープです。
- ②難接着体であるUV塗装面やPE・PPへの部品固定用です。
- ③環境に配慮したVOC対策両面テープで、使用材料にトルエン・キシレンを含んでおりません。

用途

銘板、金属板、プラスチック板等の一般接着用
各種フォーム材との貼り合せ用

構造



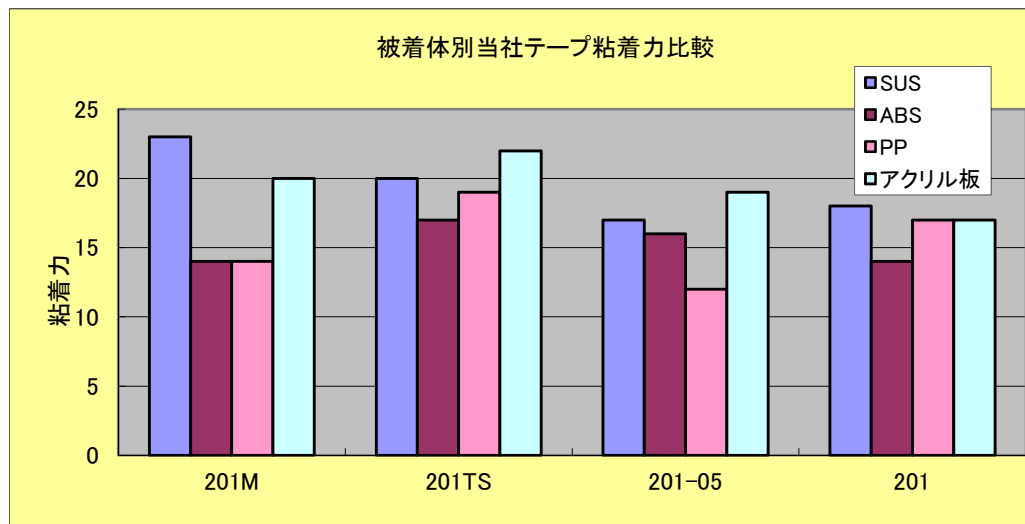
1. 粘着力

製品名	厚み (mm)	粘着力 (N/25mm)
201M	0.11	20

*PET#25裏打ち 被着体:ステンレス
貼り付け後、24時間放置
引張り速度 300mm/min 180度ピール

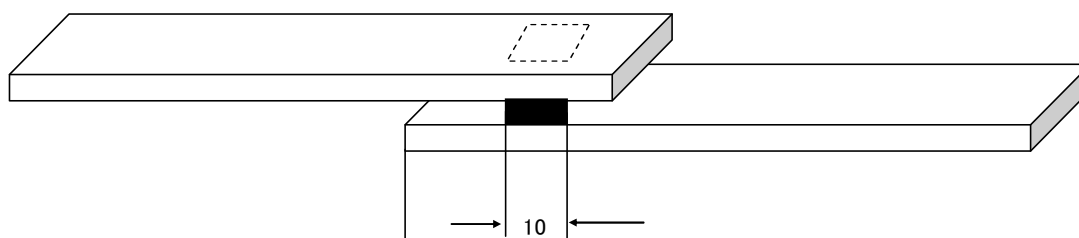
2. 被着体別粘着力

被着体別での粘着力比較を、当社不織布基材他品と比べてみた。

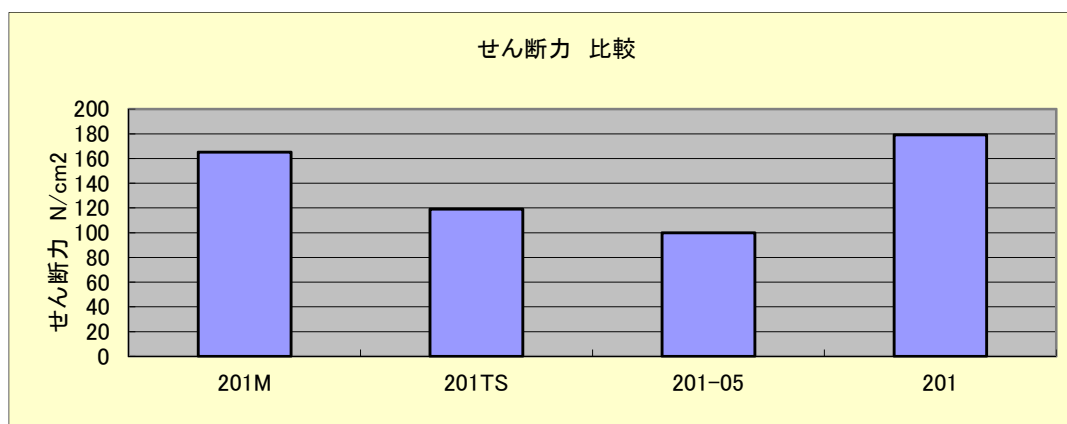


201Mは、金属に対して高い粘着力を示している。

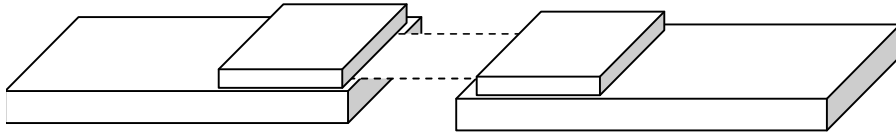
3. せん断力



10×10mmにカットした試験体の両面に被着体を貼り合わせ、
2kgロールにて2往復圧着する。標準状態に40分放置後、
、速度200mm/minにて引張り剪断強度を測定する。



4. 引張強度



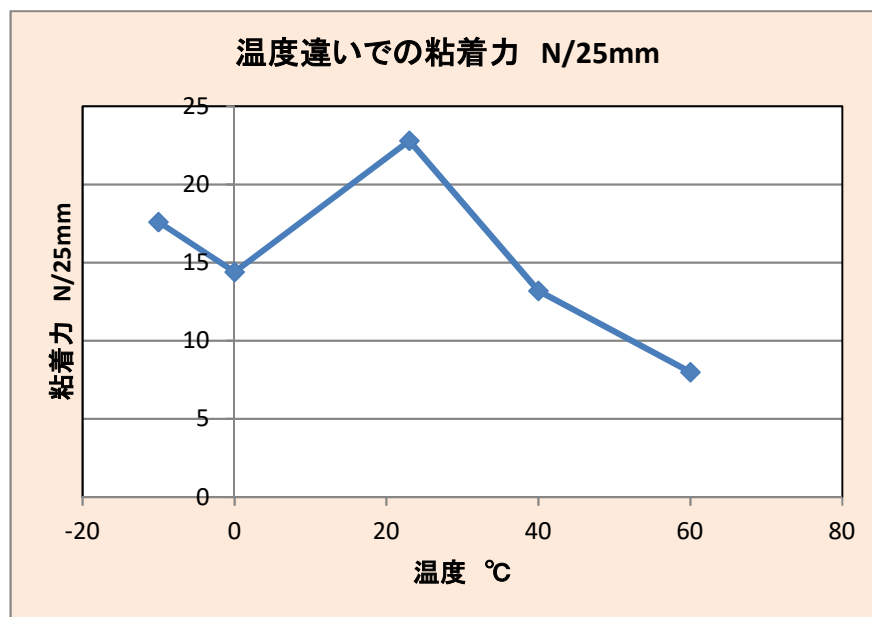
引張試験

両面テープを10mm幅×70mm長さに切断し、長さ方向の両端10mmをポリエステルフィルムで接着し、10mm幅×標線間隔50mm、の試験片を得た。次に引張速度300mm/minでテープ切断時の強度を測定した。

引張強度
(MPa)

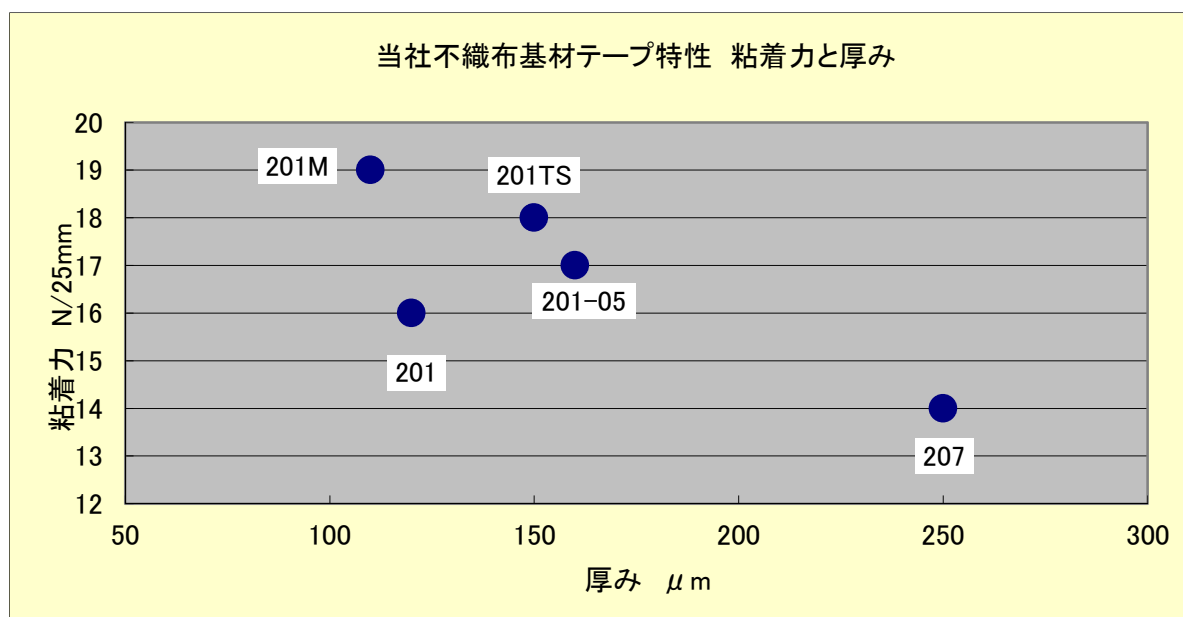
2.75

5. 温度違いでの粘着力変化



201Mは、室温(23°C)付近が最も強い粘着力を示します。

【付表】 当社不織布基材テープ製品一覧 厚みと粘着力



ご使用上の注意

- 技術資料は全て共同技研化学(株)の研究室で行われたテストと実測値を基準に作成されております。
但し、製品特性は環境や被着体によって大きく変わることがあります。
したがってこれらの特性データにつきましては参考値であり、保証値ではありません。
ご使用される前にこの製品が使用用途・環境に適しているかお確かめの上ご使用ください。
- 被着体の表面の油分・水分・ゴミなどは、きれいに除いてください。
- 感圧型粘着剤ですので、圧着はローラー・またはプレスにて十分行ってください。
圧着が不十分な場合、特性及び外観に影響を与えます。
- 凹凸面や歪みの大きいものにはきれいに接着しない場合があります。できるだけならしてください。
- テープ本来の粘着力を発揮するまでには、少し時間がかかります。
少なくとも貼り付け後 数時間はテープに大きな力がかかる置き方や使い方は避けてください。
- 上記測定は、室温(23℃)下にて行われたデータです。
低温(5℃以下)の場合、粘着力は、急激に低下する場合があります。

保管の注意

- 必ず箱に入れて保管してください。
 - 保管場所は、直射日光の当たらない冷暗所を選んでください。
特に、高温高湿下(温度30℃以上 湿度50%以上厳禁)にさらさないでください。
- 共同技研化学株式会社

2015年10月 発行

〒359-0011
埼玉県所沢市南永井940番地
TEL 04-2944-5151